

利用者からみた IFRS について

大和総研 執行役員 引頭 麻実

1. 利用者は総論としては IFRS 採用に賛成
 - ⇒ 国際的横断比較可能性の向上
 - ⇒ 企業の海外 M&A 促進に寄与←企業価値向上に貢献する可能性あり

2. 開示内容の充実を歓迎
 - ⇒ 基本的に開示量は豊富に
 - ⇒ ただし、中には過剰感のある開示案があることも事実

3. 一方、現行の基準の一部および現在開発／提案されている各種基準には戸惑いも
 - ⇒ 例えば
 - ★ 顧客との契約から生じる収益
(2010/10/22 日本証券アナリスト協会プレス発表)
 - ★ 金融商品：償却原価および減損
(2010/6/30 日本証券アナリスト協会プレス発表)
 - ★ IAS37 号における負債の測定
(2010/5/12 日本証券アナリスト協会プレス発表)
 - ★ 開発費
など

4. 伝統的(実質的)な利益は重要との立場
 - ⇒ リサイクリングに対する要望強い
 - ⇒ 開発途上の概念フレームワークにおける“利益”の定義について深度ある検討を切望

5. 利用者にとっては“透明で分かり易い基準”がゴール
 - ⇒ その実現に向けて、諸外国の利用者とも連携も不可欠
 - ⇒ 基準開発において積極的に関与していく！